

工陵

小山高専だより



吹奏楽部新入生歓迎コンサート



球技大会



入学式



<https://www.oyama-ct.ac.jp/> 旧小山高専だより通刊No.191
※従来の小山高専Quarterlyから工陵・小山高専だよりへ変更しました。

Vol.12

2021.6

目次

学校長挨拶

Barracuda and Bait Fish

-A Story about Mental Barriers 2

主事・専攻科長挨拶

未来に続く道を歩き続ける..... 3

人との出会いを大切に！つなげていく努力を！..... 3

2つの「シリツ」と3つの「キョウドウ」..... 3

Advanced Course 3

学級担任等の紹介..... 4

新入生に贈る言葉..... 5

新任教職員挨拶..... 6

学生相談室からのお知らせ..... 7

学生会ニュース..... 8

学寮ニュース..... 8

新型コロナウイルス対策にご協力ください..... 8





Barracuda and Bait Fish — A Story about Mental Barriers

校長 堀 憲之

ある海洋生物学者が行ったとされるバラクーダと魚餌の話です。日本では「カマスの実験」として知られているようで、次のようなストーリーです。水槽にバラクーダ（オニカマス）とエサの小魚を一緒に入れると、獰猛なバラクーダはすぐに小魚を食べてしまいます。次に水槽にガラスの仕切りを入れ、一方にバラクーダを、もう一方に小魚を入れます。すると初めのうちバラクーダはエサを食べようとして突進し、仕切りにぶつかります。しかし衝突を繰り返すうちに学習し、時間を経ると小魚を追わなくなります。その後仕切りを取り除いてもバラクーダはもう小魚を食べようと追わなくなるのだそうです。ちなみに新しく1匹のバラクーダをこの水槽に加えると小魚を捕食し、しばらくすると無気力になっていたバラクーダも再び小魚にアタックし始めた、ということらしいです。人間も何回か失敗すると挑戦しようという気持ちが薄らぎ、心の中にもガラス板を立ててしまいます。そしてそのことで自分の可能性を抑え込んでしまうかもしれません。ですので、心に仕切りを作らないように気を付けたいですね、という結びです。ここまで読んで、「自分もそうしよう」という気持ちになった人はぜひそうしてください。

さて、「そうは言っても…」と思った人もいるかもしれません。ガラス板を作らないことが肝心とは言え、それが難しい時があります。もし心に仕切りが出来てしまった時は、どうすればよいのでしょうか。私は果敢な体当たり以外にも手立てはあるように思います。時間が経って仕切りが自然に消えるとか、他の誰かが消してくれそうなら、それを待っても良いと思います。まだ少しでも気持ちがあれば、全力でなくても辺りを探るのもよいでしょう。隙間や穴が見つかるかもしれませんし、別の餌がいるかもしれません。あるいは仕切りを崩して行けるような道具を思いつくかもしれません。また、ひとりではダメでも誰かと協力（相談）すればうまくゆくかもしれません。心の仕切りに効く万能な方法はないかもしれませんが、人は色々と視点を変えることで、この問題を解決できるのではないのでしょうか。手始めに誰かに話してみてもどうでしょうか。

なお、この実験に関する文献をネット検索してみましたが、見つかりませんでした。なので、上の実験結果の真否は不明です。ご存じの方がいれば教えて頂けると幸いです。

未来に続く道を歩き続ける



副校長(教務主事)
森下 佳代子

皆さんは始業式にお話ししたことを覚えていますか?『10年後のありたい姿を思い描き、そうなるためには1年後にどうなっていたらよいかを考え、その目標を達成するために、今、何をしたらよいか考えて行動する』というお話。小欄はその続きです。禅の教えに『脚下照顧』という言葉があります。

禅僧の枡野俊明さんは、その意味について、『未来とは、遠くの方にぼつんとあるものではなく、現在の延長線上にあるもの。その場所にひとつ飛びで行くことはできないし、誰かが連れて行ってくれるものでもない。自分の力で、自分の力で一歩ずつ進んでいくしかない。つまり、未来に続く道を歩き続ける。』と説いています。でも、目標が定まらなければベクトルが定まらない。だから、10年後の自分を強くイメージすることが大切。そして、着実に進むことが大事。時には足踏みしてもいい。その過程は曲がりくねっているかも知れない。でも、そのワインディングロードをも楽しむ気概を持って歩き続けましょう。未来に続く道を。

人との出会いを大切に!つなげていく努力を!



校長補佐(学生主事)
飯島 道弘

皆さんは、人との出会いの大切さについて考えたことがありますか?まだ、若いうちは実感がわかないかもしれませんが、歳を重ねるごとに、自分の進路や職業、価値観など人生に影響した出会いがあったことに気が付きます。これらは、現時点ではその重要性に気付いてない場合が多いでしょう。学生

時代には、先生や友人、先輩や後輩など多くの人と出会い、自身の価値観や視野を拡げ、また交流により自身の強みや弱みも把握し、改善や向上に繋げることができます。勉学、課外活動、プライベートなど何でも積極的にチャレンジし、自分と異なるタイプの人との交流も拡げていってください。重要なことは、良い出会いは、待っているだけでは訪れない、ということです。自分から一歩踏み出したときに新たな展開が始まります。これからの出会いを良いものに変えていくには、一人一人を大切に、信頼関係を築き、真摯に向き合い交流していく必要があります。人とのかかわりを恐れずに、ポジティブに楽しんでください。

2つの「ジリツ」と3つの「キョウドウ」



校長補佐(寮務主事)
須甲 克也

寮生活における個人の行動の基本は「自立」と「自律」です。例えば新入寮生にとっての「自立」の第一歩は掃除や洗濯などの自分の身の回りのことを自分自身でやること。そして「自律」は、自分で決めた計画やルールにそって、勉強や運動、遊びのバランスを取った規則正しい生活ができることです。

さらに、集団生活という面では、まずは、大勢の寮生がただ一緒に生活する「共同」から、力を合わせて集団生活のさまざまな業務や役割をこなしていく「協同」へ、そして、より良い寮生活をめざすという確固たる目的をもって改革を推進していく「協働」へと、集団生活の質を高めていくことが重要です。

現在は厳しいコロナ禍の中で、多くの制約と不自由な生活を強いられながらも、青嵐寮の諸君は、2つのジリツを携えて、3つのキョウドウをたくましく駆け上がっています。

Advanced Course



校長補佐(専攻科長)
鈴木 真ノ介

タイトルに掲げたものは、専攻科の英訳になります。これをインターネットで検索してみると、各高専の専攻科のウェブサイトが出てきたり、訳語として“上級コース”と表示されたりします。皆さんにとっての専攻科とは、どのような存在でしょうか?単なる高専本科の後付け教育機関なのか、将又、訳語の通り、上級すなわち先進的な教育機関なのか。私は後者であると自信をもって言いたいと思います。専攻科は単に大学3、4年生に相当する学年ではなく、本科で培った実学に基づく基礎力を、研究を軸とした高度な実践能力へと発展させる機関です。各種学会においては大学院生と肩を並べ、多くの受賞を実現する研究力を有するだけでなく、グローバル化を見据えて国際交流活動に多数の学生が参加し、同じ学齢で比較しても優秀な学生の在籍率が非常に高いと自負しています。今年度からは試験的に、近隣大学の大学院進学を想定し、専攻科から大学院修士課程まで大学・高専教員が連携して研究指導を行う取り組みも始まりました。このような専攻科をMore Advancedにすることで、高専が世界のKOSENと呼ばれつつあるように、Advanced CourseではなくSENKOKAが世界の共通語になることを私は夢見しております。その実現のために、本科・専攻科を問わず、学生の皆さんの活躍を期待しています。

◆ 学級担任等の紹介 ◆

専攻科					
	機械工学コース主任 山下 進 機械工学科	電気電子創造工学コース主任 北野 達也 電気電子創造工学科	物質工学コース主任 武 成祥 物質工学科	建築学コース主任 堀 昭夫 建築学科	
	機械工学科	電気電子創造工学科 (L)	電気電子創造工学科 (R)	物質工学科	建築学科
5年	 日下田 淳 機械工学科	 床井 良徳 電気電子創造工学科	 今成 一雄 電気電子創造工学科	 渥美 太郎 物質工学科	 崔 熙元 建築学科
4年	 那須 裕規 機械工学科	 大島 心平 電気電子創造工学科	 干川 尚人 電気電子創造工学科	 川越 大輔 物質工学科	 安高 尚毅 建築学科
3年	 川村 壮司 機械工学科	 田中 昭雄 電気電子創造工学科	 鹿野 文久 電気電子創造工学科	 田中 孝国 物質工学科	 小林 基澄 建築学科
2年	 岡田 晃 一般科	 長田 朋樹 一般科	 上野 哲 一般科	 山崎 明 一般科	 中田 幸子 一般科
1年	 小原 佑己 一般科	 長峰 孝典 一般科	 加藤 清考 一般科	 杉山 桂子 一般科	 吉村 理英 一般科

新入生に贈る言葉



機械工学科1年担任
小原 侑己

新入生の皆様、この度はご入学おめでとうございます。世間は新型コロナウイルス一色でございますが、適応のはい皆様は自粛を繰り返す新しい生活に、すでに慣れていくことと思います。皆様が健康にこの一年を過ごされることを願っております。

さて、皆様は「夢や目標」があつて、小山高専に入学されたと思います。私も夢と目標を持って、本校に着任しました。目標の達成には楽しいこともあります、辛いこともあります。5年間という期間は長く、楽な道に流れてしまいたくなることもあると思いますが、お互いに頑張っていきましょう。



電気電子創造工学科(L)
1年担任
長峰 孝典

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんにとって「面白いこと」は何ですか？ゲームをやる、漫画を読む、動画を観るなどたくさんありますよね。そんな面白いことの中に「数学」を追加してみませんか？数学は高専生にとって必要不可欠な科目であると同時に、娯楽として誰でも楽しめる学問でもあります。例えば、休日暇なときに数学をやる、お風呂に入りながら数学をやってみる、友達と数学の話をしながら夜更かしをしてみる、なんていうのはどうでしょうか？とても楽しい時間が過ごせるはずです。小山高専には、数学が大好き過ぎる先生や先輩がたくさんいます。もちろん私もその一人です。皆さんも、そんな楽しい数学の世界に来てみませんか？心よりお待ちしております。



電気電子創造工学科(R)
1年担任
加藤 清考

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんは、高専に入学してきたからには、将来工学系の企業に就職してものづくりに携わる技術者になることや、専攻科や大学に進学して研究者になることを希望していることと思います。しかし、ただ希望するだけで5年間ボーッと過ごしただけでは、夢はなかなか実現しません。やはり、なるべく早いうちに目標を明確にして、自分は将来こんな人間になりたいということを具体的にイメージできるようになることが大切だと思います。

そうは言っても、自分の将来をイメージするという事は、なかなか難しいことだとも思います。そんな時は、皆さんの周りにいる先生や先輩をよく観察して、自分も先生・先輩のようになりたいなという人を見つけることもよいと思います。特に、高専の教員は教育だけでなく、研究も行っています。教員室を訪問して、授業の質問をするだけでなく、先生がしている研究の話や、企業での体験などを聞いてみてください。また、研究している姿をよく観察してください。これは、普通科高校にはない、高専ならではの特権の一つだと思っています。

5年間は長いように見えて、あっという間に過ぎます。高専での5年間が皆さんにとって充実した時間となることを願っています。



物質工学科1年担任
杉山 桂子

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。今年度は、4月の初めからHRや授業を通して皆さんと直接交流できることや、皆さんが他のクラスメイトと段々と打ち解けていく様子を間近で見られることがとても嬉しいです。

高専での勉強はどうですか？専門科目は当然、高度で難しいものと思いますが、一般科目はどうですか？どの科目もその分野を極めた先生方が扱う内容ですから、皆さんの想像よりも難しいかもしれません。

実は、高専で順調に進級していくためには、一部の科目に偏らず、すべての科目で合格点に達する必要があります。このためには自分に厳しく、自主的に机に向かう姿勢が大切です。苦手に思う科目でも投げ出さずに、時間を確保して安心できるまで取り組んでください。このように日頃から取り組み、テストや課題提出などの山を、クラスメイトと励まし合いながら一步一步乗り越えていきましょう。

皆さんが、先輩達と同様、胸を張って高専から羽ばたいていけるよう、精一杯サポートしていきます。どうぞよろしく願いいたします。



建築学科1年担任
吉村 理英

ご入学おめでとうございます。「高専は自由だ」という表現を私はよく耳にします。「自由」というキーワードを聞くと、古代ギリシャの数学者であり哲学者のピタゴラスが残した名言「No man is free who cannot control himself.」を思い出します。学生時代の私の恩師がよく仰っていたのです。「control himself」の部分、「自制心」や「克己心」などと翻訳されます。シンプルですが心に(胸に)刺さる表現です。学生時代、「自由に」と言われて、面倒くさいことをしなくてもいいのだろうと思っていたことがありました。しかし、自分にとって楽なはずなのに、自分が辛いと思う事がだんだん増えていったという経験をしました。なぜでしょうか。現在の私は、今やるべきことに取り組み、自制心を持ち続けることで、自分の感情に振り回されない本当の自由が手に入るのだと思っています。皆さんはどう考えますか？

新任教職員挨拶



建築学科
大和 征良

4月に建築学科（構造系）に着任しました大和です。私は今年の3月まで外資系の建材メーカーに所属しておりました。業務的には、営業・技術営業・マーケティング・認証性能試験・工法開発など多岐に亘って取り組みました。研究においては、鉄筋コンクリート系構造（柱・柱梁接合部）、耐震診断補強、非構造部材、防耐火（耐火構造・防火設備・区画防火・上階延焼・火害診断）分野に携わっており、主として実験的研究を遂行してきました。

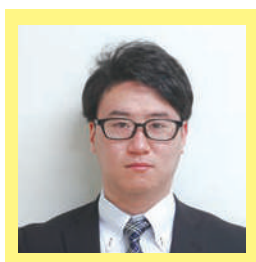
小山高専もグローバル化を推進しているとのこと、建材メーカーで、北アメリカ本社に勤務したり、エジプト（ピラミッド改修）やインド（鉄鋼ワークショップ）、ドイツ、オーストリア、リヒテンシュタイン、中国、マレーシアなどに出張したりした経験などもお話ししながら、皆さんと一緒に建築を勉強していくことができればと思います。妻が音楽家ということもあり、芸術鑑賞が趣味です。宜しくお願い致します。



一般科（数学）
神代 真也

4月に一般科（数学）に着任しました神代真也（くましよしんや）です。2020年3月に千葉大学で博士号を取得し、昨年度は特別研究員をしておりました。好きなものはコーヒーです。以前はあまり好きではなかったのですが、3ヶ月ほどドイツに研究滞在をした経験があり、その研究室では毎日コーヒーが出されるので仕方なしに飲んでいるうちに、気づけば生豆を取り寄せて自宅で焙煎するようになりました。

研究については、主に代数学の中の可換環と呼ばれる数学的構造の解明に取り組んできました。可換環とは、一言でいえば「足し算・引き算・かけ算が自由に行えるものの集まり」であって、例えば整数全体の集合や、多項式全体の集合は可換環となります。研究に関するより詳しいことはホームページ（<https://skumashiro.com>）にて随時公開していますので、もし興味があれば覗いてみてください。



物質工学科
植田 泰之

今年度、物質工学科に着任しました植田泰之です。2020年に東京工業大学で博士号（理学）を取得し、昨年は関西学院大学（兵庫県）で博士研究員をしておりました。美味しい飯と綺麗な景色あとはスポーツが好きということもあってバイクで日本各地へツーリングするのが趣味です。

研究は有機合成化学、構造有機化学、機能性分子の設計に着手しております。有機合成はレゴブロックのように原子と分子を組み合わせる新しい分子を組み立てる学問です。新しい分子は、医療、工業など幅広い分野で次世代産業のベースになります。それは、“世界最小・究極のモノづくり”と言えるかもしれません。未だ世に出ていない未踏分子を合成した時の喜びはひとしおです。そんなこんなで、年甲斐もなくワクワク・ドキドキしながら皆さんと『モノづくりの匠』を目指して喜びと感動を分かち合いたいと思います。今後ともよろしく願いいたします。



課外活動指導員
秋村 光雄

今年度、課外活動指導員に採用された秋村です。よろしく願いいたします。課外活動指導員としての私の主な仕事は課外活動の支援と環境整備です。課外活動支援は各クラブの巡回・安全確認と緊急時の対応です。また、環境整備の方は落ち葉の片付け、草刈り等、学校内の清掃になります。私にとって、久しぶりの小山高専での仕事であり、少しでもお役に立てればと考えています。放課後、部活動を見に行きますので、気軽に声をかけてください。

学生相談室からのお知らせ



学生の皆さんは、楽しいことも沢山あるけど悩む時もあるかと思います。そんな時、少しでもお手伝いできればと思っています。誰かに聴いてもらうと解決の糸口が見つかることもあります。どうぞ学生相談室を利用してください。

学生相談室長 加藤 清考

●カウンセラー紹介

田口 カウンセラー

カウンセラーの田口明子です。今年度は水曜日を担当しています。他の日は、心療内科のクリニックに勤務していますので、みなさんのメンタル不調についても相談にのれるかと思っています。もちろん、ちょっと話し相手が欲しいなというときでも気軽に来談してください。

学生相談室には「箱庭」もあります。言葉で表現することが難しい場合でも、もしかしたら箱庭の砂やミニチュアが、あなたの助けになってくれるかもしれません。興味のある方はどうぞお声掛けください。

田村 カウンセラー

今年度からカウンセラーとして赴任しました田村雄志と申します。これまで総合病院や心療内科クリニックで心理士として勤務してきました。皆さんに学生生活のことを教えて頂きながら、安心して学業に励み、有意義な学校生活が送れるように、一緒に考えるお手伝いができたらと考えています。どうぞ気軽にご相談ください。

中村 カウンセラー

今年度から勤務しています中村浩之です。病院の小児科、小学校、中学校、高校、精神科クリニックなどで公認心理師としてカウンセリングの仕事をしています。子どもから大人まで、いつでもだれでも人は悩める生き物です。「悩みごとがあったらカウンセリングで話をする。」そういうことが当たり前になったらいいなあと思いながら、仕事をしています。どなたでも、ぜひご利用ください。

●ソーシャルワーカー紹介

菅野 ソーシャルワーカー

こんにちは。今年度よりソーシャルワーカーとして勤務いたします菅野と申します。普段は医療機関でメンタルヘルスや就労についての相談、サポートをしています。皆さんの学生生活がより楽しく充実したものとなりますよう、お役に立てればと思っています。行政サービスや経済的支援についてご案内も可能です。どうぞよろしくお願いいたします。

川田 ソーシャルワーカー

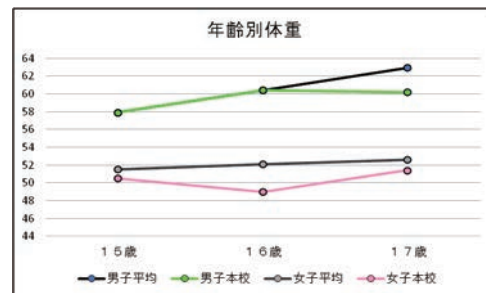
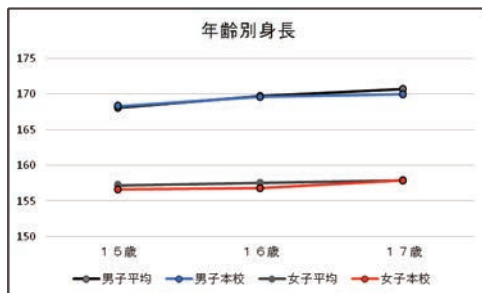
こんにちは。川田奈美と申します。これまで、法人、行政、教育委員会などに所属しながら、多岐にわたり子ども若者支援に携わってきました。相談内容に応じて、悩みごとを整理したり、資料や情報提供を行ったり、様々な機関と連携を図ります。そして、安心して学校生活が送れるように、また適切な進路を選択できるようにお手伝いします。「些細な事…」と思わず、気軽に話してみませんか？みなさんの明るい未来への一步を応援したいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

令和3年度 学生相談室員

室長	加藤 清考 (一般科)
副室長	鹿野 文久 (電気電子創造工学科)
室員	那須 裕規 (機械工学科)
室員	小林 康浩 (電気電子創造工学科)
室員	川越 大輔 (物質工学科)
室員	崔 熙元 (建築学科)
室員	須甲 克也 (一般科)
室員	山崎 明 (一般科)
室員	廣田 智子 (保健室)

保健室より

4月に実施しました健康診断の結果が出ております。身長・体重の全国平均と大きな差はありませんでした(下図参照)。また、再検査が必要な学生には、医療機関受診の案内文が入っておりますので、早めの受診をよろしくお願いいたします。



身長	15歳	16歳	17歳
男子平均	168.1	169.7	170.7
男子本校	168.3	169.6	170
女子平均	157.2	157.5	157.9
女子本校	156.6	156.8	157.9

体重	15歳	16歳	17歳
男子平均	57.9	60.4	62.9
男子本校	57.9	60.4	60.2
女子平均	51.5	52.1	52.6
女子本校	50.5	49	51.4

学 生 会 ニ ュ ー ス

建築学科2年 遠藤 慎

皆様こんにちは、学生会執行部広報局です。
暑さが日ごとに増してまいりましたが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。

今年は去年と違い、新年度初日からクラスメートと顔を合わせて授業を受けることが出来ました。また、去年は行われなかった球技大会も今年は、体育委員会の皆様が尽力してくださったため行うことが出来ました。そして、この当たり前のことがいかにありがたいことなのかを感じました。これも昨年度から継続してマスク・消毒を徹底してきてくださった学生と教職員様方のおかげです。本当にありがとうございます。球技大会では学生はもちろんのこと先生のパワフルなプレイを見ることが出来ました。

さて、気が早いかもしれませんが、校内では早速工陵祭の準備が始まっており、今年度の工陵祭がどのような個性に溢れた場になるのか今から楽しみです。

今年度も学生会執行部は精進していきますので高専で一体となり感染症対策に気を配り、より良い高専ライフを過ごしましょう。



新型コロナウイルス対策にご協力ください

本校では、1HR教室に1クラス人数（約40名）が入る場合は、以下の3条件が同時に重なることを避けるよう配慮して授業を行います。

①密閉空間

- ・窓、ドアは2方向開けて、常に換気されている状態を原則とする
- ・換気扇は原則として常に使用する
- ・窓のない部屋は使用しない

②密集場所

- ・身体接触をしない距離を保つことを原則とする
- ・1クラス単位の活動を基本とする
- ・複数クラスの場合は、1HR教室約40人程度の密度を超えないようにする

③密接場面

- ・対面に位置しない
- ・マスクを用いて、口鼻を覆い飛沫が飛散しないようにする
- ・必要最小限の会話にとどめる

学 寮 ニ ュ ー ス

令和3年度前期寮長 建築学科4年 瀬尾 朋浩

今年度の前期寮長を務めております、4年建築学科の瀬尾です。新型コロナウイルスが猛威を振るう中、今年度も新一年生たちが4月に入寮してきました。当初、初めての寮生活に慣れない様子を見せていた彼らでしたが、先日実施した新入寮生歓迎会とドッチボール大会では、ステージ上で堂々と自己紹介をしている姿がありました。たくさんの先輩の前で緊張していたであろうにも関わらず、その頼もしい姿を見せてくれたことは、寮長の私としては嬉しい限りです。

感染症対策のため、しばらくの間は寮生活に制限がかかります。皆様のご協力を宜しく申し上げます。



▲新入寮生の自己紹介の様子



◀ドッチボール大会の様子



独立行政法人 国立高等専門学校機構

小山工業高等専門学校

〒323-0806 栃木県小山市大字中久喜771 TEL.0285-20-2100
編集：小山高専広報戦略室 発行：2021. 6